

令和3年5月12日

高齢者向けワクチン接種促進に向けた意見交換会

(知事と市町長との意見交換会)

- 1 はじめに
- 2 高齢者向けワクチン接種の終了見込み
- 3 高齢者向けワクチン接種の課題等
- 4 県の支援策(案)
- 5 今後の検討について

1

1 はじめに

県の方針

市町の接種体制の支援を強化し、
県民への迅速かつ着実なワクチン接種
を進める。

2

1 はじめに

○4月23日

菅首相が、「高齢者に対する優先接種を7月末までに完了させる」方針を表明

○4月26日(厚生労働省通知)

「ワクチン接種のための筋肉内注射の歯科医師による実施について」
一定の条件の下でワクチン接種のための筋肉内注射を歯科医師が行うことができる

○4月30日(厚生労働省通知)

「新型コロナウイルスワクチンの時間外・休日の接種について」
 接種費用(単価2070円)に、時間外等加算相当分を加算
医師、看護師を派遣した派遣元医療機関に対し財政的支援

3

1 はじめに

○4月30日

厚生労働省より、「基本配分計画」(県・市町へ最低限分配できるワクチンの量と時期)が示される

基本配分計画(滋賀県)

高齢者人口 (人)	高齢者の接種回数 (回) ※2回接種分	第1クール(4月5日の週) ~ 第5クール(5月17日の週)	第6クール(5月24日の週) (5月31日の週)	第7クール(6月7日の週) (6月14日の週)	第8クール(6月21日の週) (6月28日の週)	ワクチン量合計 (回)
		第1~5クール 分配済みワクチン量 (回)	【基本計画枠】 第6クール ワクチン量 (回)	【基本計画枠】 第7クール ワクチン量 (回)	【基本計画枠】 第8クール ワクチン量 (回)	
368,888	737,776	267,540	149,760	164,970	162,630	744,900
		第1~5クール 配布済み箱数 (箱)	【基本計画枠】 第6クール 箱数(箱)	【基本計画枠】 第7クール 箱数(箱)	【基本計画枠】 第8クール 箱数(箱)	箱数合計 (箱)
		243	128	141	139	651

※第6クールは、157箱 本県に配分された。

※第5クール以降、1バイアルから6回接種となる 4

2 高齢者向けワクチン接種の終了見込み

高齢者向け接種の2回目の終了見込み時期

(厚生労働省・総務省連名による調査結果 5月7日時点)

○7月末まで 16市町

○8月中 3市町

5

3 高齢者向けワクチン接種の課題等

1 高齢者向け接種計画の課題 市町からの意見(一部抜粋)

項目	内容
医療従事者、会場関係	○集団接種会場での接種日については、現在最大で計画を立てている。これ以上規模を増やすことは困難。 ○人員の関係から、平日に接種日を設けることができない。 ○医師、看護師も通常業務をしながらワクチン接種をしているため、かなりの負担がかかっている。
ワクチン関係	○前半遅れていたワクチンを、後半大量にワクチンが送られても処理をする体制がすぐにはできない。
予約関係	○予約開始の遅延と混乱に時間を要した。
広報関係	○高齢者への情報提供は、時間的余裕をもってする必要がある。
個別接種関係	○個別接種でどれくらい接種率を上げることが可能かにかかっている。
その他	○接種会場への交通手段を持たない高齢者等への支援が必要。 ○現在混乱している状態で、さらに前倒しをすることは至難の業である。 ○副反応に対する情報不足。

6

3 高齢者向けワクチン接種の課題等

2 県・国への要望等

市町からの意見(一部抜粋)

項目	内容
医療従事者が不足する	<ul style="list-style-type: none"> ○医師、看護師、薬剤師など直接的な人的支援 ○医師会などへの協力依頼 ○休業補償など十分な財政支援 ○通常診療時間における接種単価の増額
個別接種への協力	<ul style="list-style-type: none"> ○主要な医療機関で個別接種できるよう働きかけ ○総合病院における入院患者、かかりつけ患者への接種 ○システム入力など事務負担の軽減 ○支援金制度の創設
接種会場が確保できない	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模な接種会場確保の支援
ワクチンの配送	<ul style="list-style-type: none"> ○ワクチンの安定供給と供給日程の早期決定
県の大規模接種会場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ○県主体の大規模接種会場を設置してほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○迅速な情報提供、国民が安心できる広報

7

4 県の支援策(案)

1 県看護協会との協働

全国的にワクチン接種に協力いただける医療従事者、特に看護職の確保が問題

【ワクチン接種サポートナースプロジェクト】の実施

看護職の皆様に、より一層ワクチン接種に協力していただけるよう、県と看護協会が共に働きかけていく。

県の支援策(案)

ワクチン接種に協力いただける看護職の確保(掘りおこし・働きかけ)



ワクチン接種のための事前研修等



県の市町担当者が、直接、看護職が不足する市町と看護協会の調整を行う

8

4 県の支援策(案)

2 予防接種健康被害調査委員会の支援

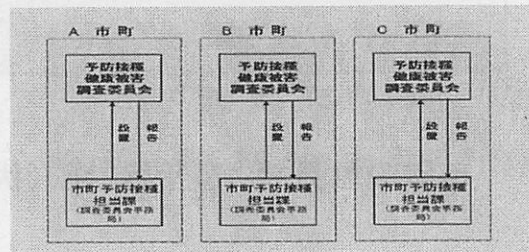
予防接種健康被害調査委員会とは

予防接種後の健康被害に対する救済給付(※)が請求された場合、請求された事例について医学的見地から調査を実施する機関(市町が設置する機関)

※健康保険等による給付の額を除いた自己負担分、医療費、医療手当および死亡一時金など

市町が設置する予防接種健康被害調査委員会の開催・運営を滋賀県が统一的に支援することを目的として、「滋賀県予防接種健康被害調査運営委員会(案)」を設置し、市町の事務負担の軽減を図る。

滋賀県予防接種健康被害調査運営委員会



主な支援内容

1. 委員推薦の省略、委員会開催の調整
2. 委員会の効率的な運営の支援

9

4 県の支援策(案)

3 県の広報活動

新型コロナウイルス ワクチン接種を安心して受けていただくために

目的

ワクチン接種は新型コロナウイルス感染症の発症や重い症状になることを防ぎます!

接種費用
無料
(全額公費)

皆様に必ず2回接種の機会があります
安心してお知らせをお待ちください

副反応に関する相談のお問い合わせはこちら

滋賀県新型コロナウイルスワクチン専門相談窓口

毎日
24時間

9:00~18:00

18:00~9:00

TEL 077-528-3588 TEL 077-528-3621

予防接種救済制度についてのご質問もお受けします FAX 077-528-4867



滋賀県

(市町等の意見を反映した情報提供)

接種後に注意してほしいこと

■ 接種後、数日以内に起こるかもしれない症状

※1回目より2回目の接種時に現れる可能性が高くなります

- 注射した部位の腫れや痛み (⌚) 当日 ~ 2日くらい続く
- 筋肉痛、関節痛 (⌚) 翌日 ~ 1日くらい続く
- 頭痛 (⌚) 翌日 ~ 1日くらい続く
- 倦怠感、寒気、発熱 (⌚) 翌日 ~ 1日くらい続く

出典：日本医師会副反応等説明リーフレット

※疲労感、吐き気や下痢・嘔吐が起こることもあります

これらの症状は数日以内に回復しますので
しばらく様子を見てください

発熱・痛みがひどい方

市販の解熱鎮痛薬を飲んでほしいとされていますが、不安な場合は、主治医や薬剤師・薬局にご相談ください。



症状が続いている方

まずは県のワクチン専門相談窓口にご相談ください。



10

5 今後の検討について

○5月7日(厚生労働省通知) 「県による大規模接種会場の設置について」

【県における武田/モデルナ社ワクチンを使用した大規模接種会場の計画および意向調査】

大規模接種会場の要件

- (1) 2～3カ月程度、継続して接種が可能であること。
- (2) 医療従事者等の確保する方策や提携先等の医療提供体制確保の見込みがあること。(市町の接種体制に影響を与えないものであること)

市町の意見および接種計画(状況)を総合的に勘案し判断していく。